

令和4年度 第59回蒼輝祭

6月21日から23日にかけて、米原高校の蒼輝祭（学園祭）が行われました。初日が体育祭、2、3日目が文化祭という形で、昨年1種目のみだった体育祭は3種目となり、中でもクラス対抗リレー、部活対抗リレーは大きな盛り上がりを見せていました。クラスパフォーマンスに関して、どのクラスも個性を十分に発揮した仕上がりになっており、学園祭にかける生徒たちの思いが存分に表現されたものになっていたと思います。

学年ごとに実施していた文化祭も、今年度は午前・午後に入れ替わりではありましたが、3年生の演劇を1・2年生が鑑賞する機会を設けることができました。さすがは上級生、という素晴らしい演劇を見せてくれた3年生、そしてその姿を目にした1・2年生、各々に達成感や、自分も来年、再来年は、という憧れが胸に残ったのではないのでしょうか。また、今年度は感染症対策を十分に行ったうえで、3年生の演劇を保護者の方に見ていただくこともできました。コロナ禍でいろいろと制限が多くなる中ではありますが、生徒の成長した姿を見ていただけたこと、とても嬉しく思います。

上記のように、今年の蒼輝祭は昨年に比べ少し規模を大きくして実施することができました。これもひとえに、学園祭をもっと盛り上げたいと企画、準備にあたってくれた生徒会執行部の生徒や、クラスで協力し、短い期間で素晴らしい作品を作り上げてくれた米高生の力によるものです。本当にお疲れさまでした。この蒼輝祭で育まれた友情や協同の精神が、米高生の今後の学校生活、ひいては人生の糧となることを強く願っています。

